令 和 4 年 度 事 業 の 実 績 報 告

学園寄附行為第 34 条第 2 項に基づき令和 4 年度事業の実績について報告する。

(概要)

当学園は、昭和 38 年 3 月に設立されたが、平成 31 年 4 月 1 日をもって、学園名を「矢谷学園」から「鳥取学園」に改め、鳥取県東部地域における私立学校の中心的存在として、一層の発展を目指すこととした。(令和 5 年 3 月で学園創立 60 周年)

近年、全国的に人口減少と少子高齢化が進んでいる。また、令和 2 年に入ってから蔓延し始めた新型コロナウイルス感染症は、令和 4 年度においても終息の兆しは見えなかった。この間、当学園においても教職員、生徒、児童、学生の間で感染事例が発生し、休校(園)を余儀なくされるなど大きな影響を受けた。

さらに、令和 4 年度においては、ロシアによるウクライナ侵攻等の影響もあり、光熱費が高騰し、学園経営を圧迫することとなった。

人口減少と少子高齢化の中で、新型感染症への対応を迫られる事態が現在も続いているところであり、今後とも、当学園にとって、園児や生徒の安定的確保等、学園運営に一層の厳しさが見込まれる。

(1)高校においては、平成 28 年度から取り掛かっていた耐震改築工事が進み、令和 2 年度末までに新校舎の完成をみた。教育環境の整備が進む一方で、教育内容の充実や県内中学校への地道な働きかけの結果、令和 4 年 4 月の生徒の確保は全体で 1,270 名と過去最高となった。令和 5 年 4 月においても 1,241 名を擁し、県内公私立高校の中でも最大規模の高校となっている。

(2)幼稚園では近年園児の減少傾向が続いており、危機的な状況である。このような中、第三幼稚園園舎の全面改築を行うため、令和 3 年度に入り工事に着手し、令和 4 年度に竣工した。第一幼稚園については、令和 5 年度に実施設計を行うこととした。今後の鳥取市内全体の幼児減少などを見極めつつ、老朽化した園舎の環境改善・運営の方法など、将来を見据えて、鳥取幼稚園のあり方を抜本的に検討することが急務となっている。

(3)鳥取城北日本語学校では、令和元年度に第一期生として 17 名、令和 2 年度には第二期生として 55 名の留学生を受け入れた。令和 2 年度以降は新型コロナウイルス感染症にかかる国の入国制限措置により、大きな影響を受けることになった。令和元年度以降各年度とも定員 100 名を大幅に下廻る状況が続いており、赤字経営が続いている。

全国的な経済活動の停滞により企業による人材受け入れ控えの傾向が続く中、今後、留学生の確保とともに、鳥取市などの関係機関の協力を得ながら就職先の開拓に一層力を入れ、経営改善を図っていく必要がある。

(4)今後、新型コロナの終息後を見据えて、学校教育、部活動、寮での過ごし方、各種行事など、多方面にわたりアフターコロナの体制確立に努める必要がある。

以上のとおり、厳しい経営環境と不確実、不透明な諸情勢の中ではあるが、建学の精神に則り、積極的かつ個性的で魅力ある学園運営に努めた。

（学校法人鳥取学園寄附行為）

第３４条第２項　理事長は、毎会計年度終了後２カ月以内に、決算及び事業の実績を評議員会に報告し、その意見を求めなければならない。

（学校法人鳥取学園事務決裁規則）

第３条　理事会は、学園の業務について、次に掲げる事項を議決する。

(9) 決算の承認

１．事業実績（学園全体）

(1) 名　称　学校法人　鳥取学園

主たる事務所の住所　鳥取市西品治 848 番地

電話番号（0857）23-　0602

(2)法人成立　昭和 38 年 3 月 28 日

(3)目　的　教育基本法及び学校教育法に従い学校教育を行い豊かな人間性を涵養し、社会に貢献する有意な人材を育成する。就学前教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律に従い、幼児期の教育・保育を行い、生涯にわたる人格形成の基礎を培う。

(4)設 置 校

区　　分	開　　校	知事認可日	備　　考
鳥取城北高校	昭和 38 年 4 月	昭 38.3.12	―
認定こども園 鳥取第一幼稚園	昭和 30 年 6 月 平成 30 年 4 月	昭 30.6.7 平 30.4.1	平成 30 年度から幼稚園型 認定こども園に移行
認定こども園 鳥取第二幼稚園	昭和 41 年 4 月 平成 26 年 4 月	昭 41.4. 6 平 26.3.31	平成 26 年度おひさま保育園設置 幼保連携型認定こども園に移行
認定こども園 鳥取第三幼稚園	昭和 43 年 4 月 平成 30 年 4 月	昭 43.3.13 平 30.4.1	平成 30 年度から幼稚園型認定こども園に移行、令和 5 年度から幼保連携型認定こども園に移行
認定こども園 鳥取第四幼稚園	昭和 53 年 4 月 平成 24 年 4 月	昭 53.2.27 平 24.3.30	平成 24 年度はっぴぃ保育園設置 幼保連携型認定こども園に移行
認定こども園 鳥取第五幼稚園	昭和 55 年 4 月 平成 30 年 4 月	昭 55.1.12 平 30.4.1	平成 30 年度から幼稚園型 認定こども園に移行
鳥取城北日本語学校	平成 31 年 4 月	平 29.11.16	平成 31 年 2 月 20 日に法務省から留学生受入校として適合する旨の告示。 令和 2 年 11 月 13 日、3 年 10 月 8 日、4 年 10 月 12 日に広島出入国在留管理局から適正校として選定

(5)学生・生徒・園児数の状況　（各年度：5 月 1 日現在）（単位：人）

学校名	平成 30 年度	令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年 4 月 1 日
鳥取城北高等学校	1,111	1,058	1,129	1,151	1,268	1,241
認定こども園 鳥取第一幼稚園	222	203	169	157	136	130
認定こども園 鳥取第二幼稚園	285	288	275	274	265	261
認定こども園 鳥取第三幼稚園	91	79	88	94	96	116
認定こども園 鳥取第四幼稚園	315	327	295	273	262	236
認定こども園 鳥取第五幼稚園	96	90	81	68	57	49
認定こども園 計	1,007	987	908	866	816	792
鳥取城北日本語学校	－	17	55	28	29	7
合　計	2,118	2,062	2,092	2,045	2,113	2,040

(6) 建学の精神

学校法人鳥取学園は、「社会をつくるのは人であり、人をつくるのは教育である。そして社会の発展の基礎は教育にある」との認識の上に立ち、教育を通して社会に貢献することを使命とする。

特に人間形成の基礎を育む幼稚園教育、人間性の一層の伸長と人格の陶冶を図る高等学校教育を重視し、それぞれの教育目標を具現化するために鳥取幼稚園、鳥取城北高等学校を設置する。

また、地域社会の要請に応えるために鳥取城北日本語学校を設置する。

平成 31 年 4 月には、法人名称を矢谷学園から鳥取学園に変更し、法人の一層の発展を目指すこととした。

(7) 学校法人の沿革

昭 和

24 年 10 月　財団法人鳥取ドレスメーカー女学院設置
30 年 4 月　鳥取幼稚園開園
38 年 3 月　学校法人矢谷学園　設立認可
　　理事長　矢谷　允之
　　4 月　鳥取城北高等学校開校（普通科・商業科・家庭科）
41 年 4 月　鳥取第二幼稚園　設置認可
43 年 3 月　鳥取第三幼稚園　設置認可
　　4 月　鳥取城北高等学校 家庭科を廃止し商業科に商業家庭コースを設ける
51 年 4 月　鳥取城北高等学校　専攻科設置
53 年 2 月　鳥取第四幼稚園　設置認可
55 年 1 月　鳥取第五幼稚園　設置認可
63 年 11 月　鳥取情報処理専門学校　設置認可

平 成

2 年 3 月　財団法人鳥取ドレスメーカー女学院解散
16 年 3 月　鳥取城北高等学校　専攻科廃止
22 年 4 月　鳥取情報処理専門学校を専門学校鳥取情報経理学院に名称変更
24 年 3 月　はっぴぃ保育園　設置認可
25 年 4 月　理事長　山根　昌弘
26 年 3 月　専門学校鳥取情報経理学院　閉校
　　おひさま保育園　設置認可
29 年 11 月　鳥取城北日本語学校　設置認可
30 年 3 月　鳥取幼稚園の全園が認定こども園化
　　4 月　理事長 石浦　外喜義
31 年 4 月　法人名称を鳥取学園に変更
　　鳥取城北日本語学校　開校

令和

3 年 3 月　鳥取城北高等学校新校舎完成記念式典開催
5 年 1 月　鳥取第三幼稚園園舎完成記念式典開催

(8)役員等　（令和５年４月１日現在）

① 理 事　（寄附行為第６条第１項第１号　８人以上 15 人以内）

	職 務	氏　　名	就任年月日	勤 務	主な現(元)職
1	理事長	石浦 外喜義	(H24.5.30) R3.4.1	常勤	鳥取城北高校校長
2	常務理事	林　喜久治	(H26.9.25) R4.4.1	常勤	元鳥取大学理事・副学長
3	理　事	油野　利博	(H30.7.27) R3.7.30	非常勤	鳥取城北日本語学校校長 鳥取大学名誉教授
4	理　事	西村　岩雄	(H30.4.1) R3.4.1	常勤	鳥取城北高校副校長
5	理　事	西本　誠	R2.5.28	常勤	鳥取城北高校教頭
6	理　事	田村　雅子	(H30.5.31) R3.5.31	常勤	認定こども園鳥取第一幼稚園長
7	理　事	青木 真奈美	(R2.4.1) R5.4.1	常勤	認定こども園鳥取第四幼稚園長
8	理　事	金井　哲治	(H26.7.12) R4.4.1	非常勤	元スギホールディングス㈱常勤監査役

注）就任年月日の（　）内は、当初の理事就任年月日

② 監 事（寄附行為第６条第１項第２号　２人）

	職 務	氏　　名	就任年月日	勤 務	主な現(元)職
1	監　事	花房　幸範	(H26.9.30) R4.4.1	非常勤	アカウンティングワークス㈱ 代表取締役（公認会計士）
2	監　事	池上　勝治	(H26.12.22) R4.4.1	非常勤	元智頭急行（株） 代表取締役社長

注）就任年月日の（　）内は、当初の監事就任年月日

③ 役員待遇者

	職　　務	氏　　名	就任年月日	勤　務	主な現(元)職
1	スーパーバイザー	中江　康人	(H28.4.1) R4.4.1	非常勤	AOI TYO Holdings (株)代表取締役社長 (株)ｼｰｾﾌﾞﾝﾊｲﾌﾞｻ　取締役
2	スーパーバイザー	山内　三郎	(H30.7.27) R3.7.30	非常勤	(株)リテールサポート社長
3	スーパーバイザー	淀川　忠明	R3.2.26	非常勤	(公財)日本相撲連盟加盟団体 九州相撲連盟理事長 福岡県相撲連盟理事長
4	スーパーバイザー	角　久仁夫	R3.4.23	非常勤	明治大学端艇部前監督 鳥取県ボート協会　特別アドバイザーコーチ
5	アンバサダー	宮城野　翔	(H27.2.20) R3.2.20	非常勤	第 93 代横綱

注）就任年月日の（　　）は当初の就任年月日

④　理事会の開催状況

	開催日	主な議題等
1	4.4.22	評議員の任命と推薦、認定こども園乳児食調理業務委託契約の締結、鳥取城北高等学校学則の一部改正
2	4.5.27	R3 年度決算及び事業実績並びに監事監査報告、令和 4 年度 5 月補正予算、理事会が選任する評議員の選任及び理事会が推薦する評議員の推薦、三園通園バスの更新、幼稚園園則の一部改正
3	4.6.17	高校クラスター発生状況等の報告、一園改築及び城北高校総合ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ構想等の協議
4	4.7.15	鳥取学園経営分析主要指標、教員の人事評価、一園改築構想、城北高校総合ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ構想、ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾏｼﾝのﾘｰｽ更新と新規導入、特待生の推移
5	4.8.26	令和 4 年度 8 月補正予算、城北高校三代寺ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ土地賃貸借契約の締結、城北高校相撲部、書道部の表彰
6	4.9.27	令和 4 年度 9 月補正予算
7	4.10.28	令和 5 年度鳥取学園当初予算編成の基本方針、日本語学校の経営改善、労基署による是正勧告と指導等への対応、ｵｰﾌﾟﾝｽｸｰﾙのまとめ、剰余金の運用、鳥取第一幼稚園改築構想の検討状況、電気・ｶﾞｽ高騰への対応
8	4.11.25	令和 5 年度当初予算編成の基本方針、組織運営規則の一部改正、法人業務ｼｽﾃﾑ化導入委託事業の契約締結
9	4.12.13	令和 4 年度 12 月補正予算
10	5.1.22	鳥取城北日本語学校学則の一部改正、教職員の表彰(鳥取第三幼稚園)
11	5.2.24	組織運営に関する規則の一部改正、基幹人事
12	5.3.13	令和 4 年度 3 月補正予算、令和 5 年度当初予算主要事業、理事の再任、組織運営に関する規則の一部改正について、認定こども園鳥取第三幼稚園運営規程(園則)の全部改正

⑤ **評議員**(寄附行為第19条第2項　令和5年4月1日現在)

		氏　名	就任年月日	主な現職
1号（職員） 理事会推薦 （評議員会選任）	1	西村 岩雄	R4.4.1	鳥取城北高校副校長
	2	荒木 健司	R4.5.28	鳥取城北高校事務長
	3	西本 誠	(R2.5.28) R5.5.28	鳥取城北高校教頭
	4	安藤 章夫	R4.4.1	鳥取城北高校主幹教諭
	5	寺垣 萌	R3.5.31	鳥取城北高校養護教諭
	6	田村 雅子	R3.5.31	認定こども園第一幼稚園 園長
	7	花岡 佑子	R2.5.28	認定こども園第三幼稚園 教務主任
	8	川上 ゆかり	R4.5.28	認定こども園第四幼稚園 副園長
	9	福田 秀一郎	R4.5.28	鳥取城北日本語学校教諭
	10	山根 亮文	R4.4.1	鳥取城北高校教諭
2号（卒業生） （理事会選任）	11	谷口 洋一	R4.4.1	株式会社谷口工務店代表取締役
	12	佐々木 重行	R4.4.1	
	13	砂田 典男	R4.4.1	鳥取市議会副議長
3号（学識経験者） （理事会選任）	14	岡田 信俊	R3.6.29	有限会社オカダ人形 代表取締役社長、鳥取市議会議員
	15	近藤 剛	R4.8.1	鳥取短期大学教授
	16	森本 美穂	R3.5.29	鳥取城北高校ＰＴＡ会長
	17	石井 憲太郎	R2.5.29	認定こども園 第一幼稚園PTA会長
	18	磯江 紹元	R4.5.28	認定こども園 第二幼稚園PTA会長
	19	奥田 信行	R4.5.28	認定こども園 第三幼稚園PTA会長
	20	岸本 佳代子	R4.5.28	認定こども園 第四幼稚園PTA会長
	21	田中 俊行	R4.5.28	認定こども園 第五幼稚園PTA会長

⑥　**評議員会の開催状況**

	開催日	主な議題等
1	4.5.27	令和3年度決算及び事業実績並びに監事監査報告、令和4年度5月補正予算、学園評議員(職員)の選任
2	4.8.26	令和4年度8月補正予算
3	4. 9.27	令和4年度9月補正予算
4	4.12.13	令和4年度12月補正予算
5	5. 3.13	令和4年度3月補正予算、令和5年度当初予算主要事業、理事の選任

(9) 学園全体の取り組み

① 学園名の変更

当学園の前身である財団法人鳥取ドレスメーカー女学院が、昭和24年10月に設立されてから、70周年の節目を迎える平成31年4月1日をもって、学園名称を「鳥取学園」と改め、今後鳥取県東部地区における私立学校の中心的存在として、一層の発展と飛躍を目指すこととした。

② 組織改正

ア 令和2年12月に、高校校舎改築事業完成を踏まえて、事務局と高校事務室を統合し、名称を「事務局」とするとともに、幼稚園係を設置した。

イ 令和5年4月1日、事務局に秘書・調整担当を設置した。

③ 鳥取学園 心の健康づくり計画

厚生労働省「労働者の心の健康の保持増進のための指針」に従って、学園の心の健康づくり活動の具体的方法を定め、教職員の心の健康づくりと活気ある職場づくりに取り組む。(令和2年1月1日施行)

・学園全教職員対象「パワハラ研修会（メンタルヘルス研修会同時開催)」
(令和5年3月8日)

④ 情報公開

・広報委員会（平成30.10月設置）の開催
・学園通信MIRAIや鳥取学園パンフレットの発行
・幼稚園HPのリニューアル

⑤ あいサポート企業（団体）の認定

全ての人が住みやすい社会の実現を目指す「あいサポート運動」に賛同し、県からあいサポート企業（団体）の認定を受けた。(平成30年10月26日)

⑥ 次世代育成支援対策推進法および女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画

次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画

第１期 平成23.4.1～平成28.3.31
第２期 平成28.5.1～令和 3.3.31
第３期 令和3.5.1～令和8.4.30

女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画

第１期 平成30.2.1～令和 3.3.31
第２期 令和3.5.1～令和8.4.30

鳥取労働局の指導により、両計画を一体的に策定して１つの計画とした。

計画期間 令和3年5月1日～令和8年4月30日

計画内容

目標１ 法制度の周知による意識啓発を推進する。
目標２ 管理職に占める女性教職員と男性教職員の割合を均衡させ、維持する。
目標３ 有給休暇取得率を向上させ、維持する。

⑦　鳥取県男女共同参画推進企業認定に基づく取組
（初回認定　平成 23 年 3 月 1 日、 更新　平成 26 年 2 月 28 日、
更新　平成 29 年 3 月 29 日、更新　令和 2 年 3 月 23 日、
更新　令和 4 年 2 月 28 日）

・母性健康管理のための休暇等に関する規程　平成 26 年 10 月 1 日施行
・女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画が、「女性活躍推進企業データベース」に登録された。（令和 2 年 8 月 25 日）

【自主宣言】
①学園の教職員が仕事と家庭の両立をしながら働き続けられるような職場環境の充実を図り、女性の働きやすい職場を目指します。
②家庭と仕事の両立をしながら働き続けられるようサポートします。
教職員の積極的な研修の参加などキャリアアップを支援し、女性の働き続けられるような環境の整備。
③女性の就業継続のため、育児・介護休業に関する規程等の周知を改めて行う。

【行動計画】
女性の管理的地位に占める女性の割合について現状維持を目指す
希望する自主研修等の費用の補助等の実施
育児・介護休業に関する規程等の周知を行い、取得を促進する

２．事業実績（施設別）

(1)鳥取城北高等学校

昭和 38 年 4 月の開校から60年経過。質実剛毅の校訓を基底に知・徳・体の調和と統一のとれた教育活動をめざし、生徒・保護者・教職員がともに幸せになれる教育および、ホスピタリティを重視した活動を展開した。

令和4年度においてはより一層新、型コロナウイルス感染の影響を受け様々な校内および校外の活動が制限される中、校内外の活動や募集活動を積極的に行いた。その結果として令和5年度は令和4年度には及ばないが、ほぼ募集目標400名に達した。
また大学進学においては、大阪大学薬学部や東北大学、大阪公立大学、奈良女子大学といった難関ブロック大学の合格を始め、鳥取大学合格者も過去最多の13名に達した。

<table>
<tr><td>主な項目</td><td colspan="6">概　　要</td></tr>
<tr><td rowspan="2">学級編成</td><td colspan="2">定員　（人）</td><td colspan="2">生徒数 令和 4.5.1</td><td colspan="2">（参考 令和 5.4.1）</td></tr>
<tr><td>普通</td><td>1,080
(1,200)</td><td colspan="2">33CL　1,268 人</td><td colspan="2">（34CL　1,241 人）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">教職員数
令和 4.5.1
（令和 5.4.1）</td><td>区 分</td><td>教員</td><td>職員</td><td>計</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>常 勤</td><td>86 (86)</td><td>14 (15)</td><td>100(101)</td><td rowspan="2">124 人
(126 人)</td></tr>
<tr><td>非常勤</td><td>11 (12)</td><td>13 (13)</td><td>24(25)</td></tr>
</table>

学力向上の 取り組み	【全体】 初期指導オリエンテーション、栄光塾・研志塾（無料の校内塾）、GW サポート、総合型選抜・学校推薦型選抜・一般選抜個別指導 【志学コース】 クリアテスト、放課後共通テスト演習、ファイナルチェックテスト、栄光塾合宿、志学受験生合宿、２年生勉強合宿 【研志コース】 放課後プラスアルファ（基礎学力定着への取り組み） 【スポーツ科学コース】 英検学習、到達度確認テスト（基礎学力定着への取り組み）
保育体験活動	・鳥取幼稚園児とのふれあい学習　経費 6,450 円
教育相談事業	・スクールカウンセラー派遣委託（一般社団法人Ｐｓｙｃｈｏｒｏ） 経費　895,125 円（県補助 3/4　最大 600,000 円）
寮の設置 運営	・城翔第一寮（H27.3 設置） ・城翔第二寮（R2.5.1 設置） ・寮生 212 名　内、男：167 名、女：45 名（令和 4.4.1）
学 校 給 食	・183,038 食＝県内産 31.9%（R3 年 177,611 食） 朝…64,916 食、　昼…55,736 食、　夜…62,386 食 ・一般生徒及び教職員を対象とした昼食提供販売 ・ランチルームにホーム絆を設け、牛丼、カレー、ラーメン、うどん、そば等の販売を NPO 法人フェリースに委託
広 報 活 動	・各中学校での高校説明会（6 月～9 月） 各中学校の卒業生を動画で登場させる取り組み ・オープンスクール（7 月 26 日～28 日） ・体験入部（8 月中旬） ・パンフレット作製（7 月～10 月） ・入試説明会（10 月 26 日） ・JOHOKU　Tour２０２２開催（11 月 13 日） ・進学相談会（11 月～12 月：全５回） ・栄光塾中学生講座（12 月 3 日、4 日） ・Facebook による情報配信 ・ケーブルテレビ「部活動ガンバ！」等番組出演 ・鳥スポニュースでの部活動紹介（7 月、12 月、3 月） ・県政記者クラブへの積極的な情報提供 ・ホームページにオリジナルパノラマを導入（3 月）
就職内定率	29 年度　30 年度　元年度　2 年度　3 年度　4 年度 100%　100%　100%　100%　100%　100%
進　学　率	29 年度　30 年度　元年度　2 年度　3 年度　4 年度 76.5%　78.1%　82.9%　79.8%　81.3%　82.7%

<table>
<tr><td>進 学 状 況</td><td colspan="5">【大学入試合格状況】

国公立大学 38名（前年度 39 名）
大阪大学 1名、東北大学 1名、大阪公立大学 1名、奈良女子大学 1名、兵庫県立大学 2名、滋賀大学 1名、山口大学 3名 山口東京理科大学 1名、山口県立大学 1名、大阪教育大学 1名、高知大学 1名、鳥取大学 13名、島根大学 3名、島根県立大学 1名。公立鳥取環境大学 7名

私立大学 189 名（前年度 240 名）
同志社大学 4名、立命館大学 7名、関西大学 3名、関西学院大学 1名、明治大学 2名、中央大学 2名、近畿大学 10 名、甲南大学 3 名、龍谷大学 12 名、京都産業大学 9 名、専修大学 2 名 日本大学 8 名、駒澤大学 2 名

看護専門学校 6 名（前年度 34 名）</td></tr>
<tr><td rowspan="6">学校評価
(学校運営の改善)</td><td>重点目標</td><td colspan="5">「教育理念の確実な取り組み」</td></tr>
<tr><td rowspan="5">各項目評価</td><td>学力強化</td><td>進学指導</td><td>就職指導</td><td colspan="2">人権教育</td></tr>
<tr><td>B（C）</td><td>B（B）</td><td>A（A）</td><td colspan="2">A（A）</td></tr>
<tr><td>生徒指導</td><td>生徒会</td><td>ICT 推進</td><td colspan="2">授業向上</td></tr>
<tr><td>A（A）</td><td>B（C）</td><td>B（B）</td><td colspan="2">B（B）</td></tr>
<tr><td colspan="5">目標達成度合により A>B>C>D で評価　　（　）は令和３年度評価</td></tr>
<tr><td>校舎改築等整備にかかる長期借入金の状況</td><td colspan="5">校舎改築等整備事業
長期借入金返済状況
1)借入状況
<table><tr><th>項目</th><th>借入日</th><th>借入金（千円）</th><th>利率</th><th>期間</th></tr><tr><td>校舎改築</td><td>R 2.4.30
R 3.4.30</td><td>3,050,000</td><td>1%</td><td>35 年</td></tr><tr><td>城翔
第一,二寮</td><td>H 27.2.27
R 2.4.30</td><td>330,000</td><td>0.8～1.0%</td><td>30 年</td></tr><tr><td>野球場</td><td>H27.11.11</td><td>156,000</td><td>1.15%</td><td>25 年</td></tr><tr><td>旧志学校舎一部解体</td><td>R 4.7.29</td><td>37,700</td><td>0.95%</td><td>10 年</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td>3,573,700</td><td></td><td></td></tr></table>2) 令和 4 年度返済
返済額　139,987,654 円
県補助金　20,503,076 円
自己資金　119,484,578 円
3) 令和 4 年度末残高
3,254,254,500 円</td></tr>
</table>

鳥取城北高校三代寺グラウンドの整備	建設位置		鳥取市国府町三代寺字奥山 129-3	
	全体敷地面積		地目　原野　19,675 ㎡（三代寺自治会所有地）	
	整備内容	名称	サッカー場	女子ソフトボール場
		面積	9,758 ㎡	4,401 ㎡
		コートサイズ	7,140 ㎡ （105m×68m）	2,918 ㎡ （センター60.96m）
		構造物	部室、物置、便所 照明灯	本部棟、部室、物置 便所、照明灯
	設計・工事監理者		鳥取市立川町二丁目 325 株式会社 桂設計事務所 代表取締役 水野 治郎	
	工事施工者		八頭郡智頭町大字南方 1128-21 株式会社 谷口工務店 代表取締役 谷口 洋一	
	契約工期		令和 4 年 10 月 22 日～令和 5 年 6 月 30 日	
	実地完成（見込）		令和 5 年 5 月 31 日	
	全体事業費		287,345 千円（4 年度執行額 194,745 千円）	

鳥取城北高校卓球場の整備	整備場所	鳥取市西品治 848　城翔アリーナ　1 階（旧柔道場）
	整備面積	364 ㎡　（20m×18.2m）
	改修内容	既存床及び間仕切撤去、床新設、照明改修 エアコン新設
	工事監理	鳥取市西町一丁目 452-2 有限会社　望月建築設計事務所 取締役　西村 純一
	工事施工	鳥取市南隈 835 株式会社八幡コーポレーション株式会社 代表取締役 中山 忠雄
	契約工期	令和 4 年 12 月 14 日～令和 5 年 3 月 30 日
	実地完成	令和 5 年 3 月 6 日
	全体事業費	33,405 千円 （工事費 30,800 千円、工事監理 660 千円、 卓球備品　1,945 千円）
	備　品	卓球台　8 台　新規　既存 2 台　　計 10 台

鳥取城北高校旧志学校舎の解体工事	場所	鳥取市西品治 861-2(旧志学校舎)
	解体面積	723.49 ㎡　（全志学校舎面積 2,336.39 ㎡の内一部解体）
	解体内容	鉄筋造 3 階建本館棟解体、外壁石綿撤去、高圧ケーブル張替外
	解体設計	鳥取市西町　（有）望月建築設計事務所
	工事施工	鳥取市叶　（株）田中建設
	工期	令和 3 年 11 月 25 日～令和 4 年 5 月 31 日
	全体事業費	64,121,600 円（工事費 58,360,500 円、解体設計 2,860,000 円　外）

部活動	運動部	○相撲部（男子） ・第１００回全国高等学校相撲選手権大会（高知県立高知県民体育館） 　　団体　優勝（２年連続５回目） 　　個人　準優勝 ・第１０６回高校相撲金沢大会（石川県卯辰山相撲場） 　　団体　優勝（3 大会連続６回目） 　　個人　第３位 ・第７７回国民体育大会相撲競技（栃木県立北体育館） 　　団体少年の部　優勝 　　個人　優勝 　　準優勝 　　第３位 　　第４位 　　第５位 ・第３７回全国選抜高等学校相撲弘前大会 　　団体　第３位 　　個人　準優勝 ○相撲部（女子） ・第１０回国際女子相撲選抜堺大会 　一般個人軽量級　第３位 ・第８回全国女子相撲選択ひめじ大会 　中高生の部　中量級　第３位 ・第１３回全日本女子相撲岐阜大会 　一般団体の部　優勝 　一般個人超軽量級　準優勝 　一般個人中量級　優勝 ・第２７回全日本女子相撲選手権大会 　一般団体の部　鳥取県Ａ　準優勝 　　鳥取県Ｃ　第３位 　一般個人軽量級　第３位 　一般個人超軽量級　準優勝 ・元旦女子相撲日本一決定戦 　一般個人軽量級　優勝 　一般個人中量級　準優勝 ○野球部 ・令和４年度春季鳥取県高等学校野球大会　優勝 ・第１３８回春季中国地区高等学校野球大会　出場 ・第６１回山陰高等学校野球大会　出場 ・令和４年度秋季鳥取県高等学校野球大会　優勝 ・第１３９回秋季中国地区高等学校野球大会　第３位 ・第９５回記念選抜高等学校野球大会　出場

部 活 動	運動部	○男女陸上競技部 ・第７６回鳥取県陸上競技選手権大会兼国体予選会 女子　４００ｍＨ　優勝 走幅跳　優勝 三段跳　優勝 ・第５７回鳥取県高校総合体育大会 男子　１１０ｍＨ　優勝 ４００ｍＨ　優勝 総合　優勝 トラック　優勝 女子　２００ｍ　優勝 ４００ｍ　優勝 ４００ｍＨ　優勝 ４×４００ｍＲ　優勝 走幅跳　優勝 三段跳　優勝 総合　優勝 トラック　優勝 ・第７５回中国高校陸上競技対抗選手権大会 男子　１００ｍ　２位 ２００ｍ　２位 ４×１００mR　２位 女子　走幅跳　２位 ・第６５回鳥取県高校新人陸上競技選手権大会 男子　１００ｍ　優勝 ２００ｍ　優勝 ４×１００mR　優勝 ４×４００mR　優勝 総合　優勝 トラック　優勝 女子　１００ｍ　優勝 ２００ｍ　優勝 ４００ｍ　優勝 １００mH　優勝 ４×１００mR　優勝 ４×４００mR　優勝 走幅跳　優勝 総合　優勝 トラック　優勝 ・第３１回中国高校新人陸上競技選手権大会 男子　２００ｍ　優勝 ４００mH　５位 女子　２００ｍ　５位 走幅跳　優勝 総合　５位

部活動	運動部	トラック　５位 ・２０２３　日本室内陸上競技大阪大会 女子　U１８走幅跳　７位 〇男子駅伝部 ・第７５回中国高等学校陸上競技対抗選手権大会 ８００ｍ　５位 ・第６５回鳥取県高等学校新人陸上競技大会 ８００ｍ　優勝 １５００ｍ　優勝 ５０００ｍW　優勝 〇女子駅伝部 ・第７６回鳥取県陸上競技選手権大会 ８００ｍ　優勝 ・第７５回中国高等学校陸上競技対抗選手権大会 ８００ｍ ５位 ・第６６回鳥取県高等学校新人陸上競技対抗選手権大会 ８００ｍ　優勝 １５００ｍ　優勝 ３０００ｍ　優勝 ・第３１回中国高等学校新人陸上競技対抗選手権大会 ８００ｍ　２位、４位 ・第５７回鳥取県高等学校総合体育大会駅伝競走 １位（４年連続５回目） ・女子第３４回全国高等学校駅伝競走大会　出場 〇スキー部 ・令和４年度鳥取県高等学校総合体育大会スキー競技 男子大回転　優勝　　回転　優勝 ・第６４回中国高等学校スキー選手権大会 男子大回転　３位　４位　５位 男子回転　３位　４位 男子総合　２位 ・第３０回中国高等学校新人スキー大会 男子大回転　優勝　２位 男子回転　優勝 〇ソフトボール部 ・令和４年度（第５７回）鳥取県高等学校総合体育大会ソフトボール競技の部　優勝 ・令和４年度鳥取県高等学校ソフトボール新人戦兼第４１回全国高等学校選抜ソフトボール大会鳥取予選会　優勝 ・第２６回中国高等学校ソフトボール新人大会　３位

部活動	運動部	○女子サッカー部 ・令和４年度第５７回鳥取県高等学校総合体育大会サッカー競技の部　優勝 ・第１１回中国高等学校女子サッカー選手権大会　４位 ・皇后杯 JFA 第４４回全日本女子サッカー選手権大会鳥取県予選会　優勝　　中国地域予選会　３位 ・第３１回全日本高等学校女子サッカー選手権大会鳥取県予選会　優勝 ・第５７回鳥取県高校サッカー新人大会　優勝 ○剣道部 ・令和４年度鳥取県高等学校新人剣道大会 男子個人　優勝 ・令和４年度全国高等学校剣道選抜大会鳥取県予選会　男子団体　優勝 ・第２５回中国高等学校新人剣道大会　男子個人　準優勝 ○テニス部 ・令和４年度鳥取県高等学校テニス新人戦 男子シングルス　優勝 男子ダブルス　優勝 女子団体　優勝 ○男子バスケットボール部 ・第５７回鳥取県高等学校総合体育大会バスケットボール競技の部　優勝 ・ウィンターカップ２０２２令和４年度 第７５回全国高等学校バスケットボール選手権大会鳥取県予選　優勝 ・令和４年度鳥取県高等学校バスケットボール新人大会　優勝 ○女子バスケットボール部 ・令和４年度全国高校総合体育大会バスケットボール競技の部鳥取県予選会　優勝 ・令和４年度第６６回中国高等学校バスケットボール選手権大会　第５位 ・U１８日清食品リーグ中国ブロック２０２２　優勝 ・ウィンターカップ２０２２ 令和４年度第７５回全国高等学校バスケットボール選手権鳥取県予選会　優勝 ・令和４年度鳥取県高等学校バスケットボール新人大会　優勝 ・令和４年度中国高等学校バスケットボール新人大会　優勝 ○ボクシング部 ・令和４年度鳥取県高校総合体育大会　団体優勝 ライトフライ級　１位 フライ級　１位 ウェルター級　１位

部活動	運動部	・令和４年度第７６回中国高等学校ボクシング選手権大会 　　ライトフライ級　１位 　　フライ級　２位 　　ウェルター級　１位 ・令和４年度鳥取県高等学校ボクシング新人大会 　　ライトフライ級１位 〇空手道部 ・令和４年度鳥取県高等学校総合体育大会（空手競技） 　男子団体組手　優勝 　女子団体組手　優勝 　男子個人組手　優勝（辻） 　女子個人組手　優勝（佐々木） ・令和４年度鳥取県高等学校空手道新人戦大会（中国大会県予選） 　女子団体組手　優勝 　男子個人組手　優勝（－５５kg級、＋７６kg級） 　女子個人組手　優勝（－４８kg級） 　男子個人形　優勝 〇水泳部 ・第７２回鳥取県高等学校新人水泳競技大会兼第１０回中国高等学校新人水泳競技大会鳥取県予選会 　女子８００m自由形　優勝 ・第７７回国民体育大会（愛称：いちご一会（いちえ）とちぎ国体） 　女子２００m背泳ぎ　７位 ・第７０回中国高等学校選手権水泳競技大会兼令和４年度全国高等学校総合体育大会中国予選会 　女子２００m背泳ぎ　優勝 　女子１００m背泳ぎ　優勝 ・第５７回鳥取県高等学校体育大会水泳競技の部（競泳） 　女子２００m背泳ぎ　優勝 　女子１００m背泳ぎ　優勝 〇ボート部 ・第６６回中国高等学校ボート選手権大会鳥取県予選会 　女子ダブルスカル　第１位 　男子舵手付きクォドルプル　第１位 ・鳥取県高等学校選手権競漕大会（第５５回鳥取県高校総体） 　男子舵手付きクォドルプル　優勝 ・令和４年度鳥取県高等学校新人戦兼第３４回全国高等学校選抜ボート大会鳥取県予選 　男子ダブルスカル　優勝 　女子シングルスカル　優勝 ・令和４年度第３４回全国高等学校選抜ボート大会中国地区予選会 　男子ダブルスカル　優勝

部活動	運動部	女子シングルスカル　第２位 ・令和４年度全国高等学校総合体育大会ボート競技 男子舵手付きクォドルプル　７位 ・第７７回国民体育大会（いちご一会とちぎ国体） 男子ダブルスカル　６位 女子シングルスカル　７位 ・第３４回全国高等学校選抜ボート大会 男子ダブルスカル　第３位 〇クライミング部 ・にしけいカップ九州スポーツクライミングコンペティッション 2022　３位 ・クライミングワールドカップソルトレイクシティ 2022　１８位 ・IFSC クライミングワールドカップソルトレイクシティ 2022　１７位 ・スポーツクライミング中国地区ユース選手権 2022　２位 ・IFSC クライミングワールドカップヴィラール 2022　３０位 ・IFSC クライミングワールドカップシャモニー2022　２７位 ・IFSC 世界ユース選手権ダラス 2022　１４位 ・IFSC-AC クライミングアジア選手権ソウル 2022　１６位 ・スピードジャパンカップ 2023　２位 〇ダンス部 ・全国高等学校ダンスドリル秋季競技大会 2022（中国四国大会） 女子 HipHop Small 部門　第４位 ・6/4 全国高等学校ダンスドリル選手権大会中国・四国大会 HIPHOP 男女混成部門 Small 編成　２位 ・全国大会 7/30～8/1 HIPHOP 男女混成部門 Small 編成　３位 ・7/28DANCE　STADIUM 日本高校ダンス部選手権中国・四国大会 スモールクラス　３位 ・11/6 ダンスドリル秋季大会中国・四国大会 HIPHOP 男女混成部門 Large 編成　１位 HIPHOP 女子部門 Small 編成　全国大会進出 〇ビームライフル部 ・令和４年度第６回鳥取県高等学校ライフル射撃競技選手権大会 ビームライフル立射６０発競技　優勝 ・令和４年度第５７回鳥取県高等学校総合体育大会ライフル射撃競技会　ビームライフル立射 40 発競技　優勝 ・2022 年度全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会 ビームライフル立射４０発競技　4 位 ・2022 年度中国ライフル射撃競技選手権大会 ビームライフル立射６０発競技　優勝

部 活 動	文化部	○書道部 ・第１５回書道パフォーマンス甲子園 準優勝　愛媛県知事賞（令和４年７月２４日） ※予選中国ブロック１位通過（令和４年６月１５日） ・第４６回全国高等学校総合文化祭東京大会　書道部門 特別賞 ・第３１回国際高校生選抜書展 秀作賞 ・第５４回高校書道展 連盟賞　※令和５年度全国高等学校総合文化祭鹿児島 大会県代表決定 ・第２回全国高等学校書道パフォーマンスグランプリ東中国大会 優勝（令和４年１１月１２日） ・決勝大会・第４位（令和５年１月８日） ○ボランティア部 ・第９回全国高校生手話パフォーマンス甲子園動画審査６０ チーム中１５チーム　中国地方３校 ・本選　手話パフォーマンス奨励賞 ○アントレプレナー部 ・鳥取商工会議所青年部主催 「第１回 YEG 高校生ビジネスコンテスト」優勝 ○新聞部 ・第４４回鳥取県高校新聞コンクール　最優秀賞 ・第２６回全国高校新聞年間紙面審査賞　優良賞(2年連続6回目) ○クイズ研究部 ・第４２回全国高等学校クイズ選手権 鳥取県　優勝（令和４年７月１７日開催）

(2) 認定こども園鳥取幼稚園

私学の幼児教育 67 年の伝統を基に、人格の基礎を形成する重要な時期であり、感動する心、豊かな感性をもち、自立心を育て思いやりの心を育む教育活動を展開し、負託に応える園づくりに努めた。

また、平成 30 年度には第一、第三、第五の各幼稚園が幼稚園型認定こども園として認定され、全園が認定こども園に移行したことにより、各園が一層連携を深めて園児確保に努めているところであるが、少子化等の影響もあり、減少傾向が続いている。

第三幼稚園については、令和３年度に全面改築事業に着工、令和４年度に完成し、令和５年度から幼保連携型として再スタートした。

主な項目	概　　要				
学級編成		園児数　4.5.1		（参考 令和 5.4.1）	
	認定こども園 鳥取第一幼稚園	定員 150	7CL　136 人	定員 150	7CL　130 人
	認定こども園 鳥取第二幼稚園	270	13CL　265 人	270	13CL　261 人
	認定こども園 鳥取第三幼稚園	105	4CL　96 人	125	6CL　116 人
	認定こども園 鳥取第四幼稚園	250	13CL　262 人	250	11CL　236 人
	認定こども園 鳥取第五幼稚園	75	4CL　57 人	75	4CL　49 人
	合　計	850	41CL　816 人	870	41CL　792 人

教職員数 4.5.1 （令和 5.4.1）	区　分	教　員	職　員	計	合 計
	常　勤	86（86）	14（13）	100（99）	176（177）
	非常勤	61（62）	15（16）	76（78）	

園児募集	つばさ(5/23 掲載）581 千円、うさぎの耳（10/13 掲載）495 千円、 とっとり企画ガイド 2023　30 千円　　経費　1,106 千円
教育・保育	・幼稚園　：平日　午前 10 時～午後 2 時（水曜日　午前 10 時～午後 1 時） ・認定こども園:平日　午前 7 時 30 分～午後 7 時　・土曜日　午前 7 時 30 分～午後 6 時 ・預かり保育利用：延 1,415 人
各種教室	・音楽教室（ピアノ、リトミック　担当：園音楽教員）　延 3,380 人 ・体育教室（ボール、器具遊び、プール）　延 151 回 ・英語教室（歌、ゲーム等による興味つけ）　延 287 レッスン ・サッカー教室（ボール遊び、ミニゲーム等　）延 51 回実施

第三幼稚園園舎改築事業

令和３年度から２ヵ年の補助事業により、全園舎の改築工事が完成した。

1）整備規模　鉄骨造２階建 延 1,360.10 ㎡（内：３年度完成 914.63 ㎡）

2）事業費内訳（工期　R3.6.18～R4.12.10）　（千円）

区分		事業費(円)	年度別		
			２年度	３年度	４年度
工事・委託費		52,128,400	52,128,400	299,185,000	214,254,800
機器備品費		12,612,096	0	8,063,990	4,548,106
設備費		301,680	0	0	301,680
登記料		1,527,564	0	0	1,527,564
開園費		882,290	0	0	882,290
合計		580,891,830	52,128,400	307,248,990	221,514,440
財源	補助金	270,618,000	0	161,138,000	109,480,000
	借入金	298,550,000	50,000,000	145,450,000	103,100,000
	自己財源	11,723,830	2,128,400	660,990	8,934,440

4）認定こども園の種別　R5.4.1 から、現在の幼稚園型から幼保連携型の認可。

施設整備	・第一幼稚園　園舎改築基本計画策定業務委託 期間 4.10/21～4.12/13　委託料　1,650 千円 ・第一幼稚園　エアコン取替工事（1 台） 工期 4.9/10　工事費　220 千円
地 域・ 園行事等	・一園 日進小校区幼保小交流会、永楽温泉町七夕かざり参加 ・二園 醇風地区夜桜道路ぼんぼり展示参加、醇風地区公民館祭作品出展 ・三園 らっきょう堀り体験、浜坂地区公民館祭作品出展 ・四園 美保南地区子育てサークル参加、美保南地区公民館祭作品出展、ガイナーレ・サッカー協会との交流 ・五園 末恒小・地域とのわくわく交流会、末恒地区公民館祭作品出展
	・幼稚園を活用した子育て支援　計 43 回（親子体育教室一・二・四園で実施）
	・各園再資源化の取り組み（継続）
給　食	・幼児：鳥取幼稚園給食センター委託 143,546 食 ・乳児：(株) レパスト 委託 32,102 食
学校評価	○各園の総合評価　☆教育目標 第一幼稚園　○A（A） ☆豊かな心を持ち生き生きと遊ぶ子ども 第二幼稚園　○A（A） ☆生きる力があふれる子ども 第三幼稚園　○A（A） ☆豊かな感性をもち主体的に活動する子ども 第四幼稚園　○A（A） ☆ゆたかで　やさしく　たくましいこども（３歳以上児） こころも からだも すこやかに そだちあうこども（３歳未満児） 第五幼稚園　○A（A） ☆明るく　たくましく　心豊かな子ども ＜A 十分達成　B 達成　C 取り組みが十分でない　D 不十分＞（　）は令和３年度評価

（3）鳥取城北日本語学校

・平成 28 年 10 月　県内商工団体から鳥取市に対して日本語学校設立の要望書が提出された。
・平成 31 年 4 月 1 日鳥取城北日本語学校を開校。第 1 期生として、ベトナムから 17 名の留学生を受け入れた。（令和 2 年 3 月 13 日　卒業式）
・令和 2 年度留学生（第 2 期生）として、ベトナムから 55 名の留学生を受け入れた。
新型コロナウイス感染症拡大の影響を受け、国の水際対策により、留学生の入国が大幅に遅れたため、卒業時期を 3 か月延長した。
（令和 2 年 11 月 26 日　入学式、令和 3 年 6 月 26 日　卒業式）
・令和 3 年度留学生（第 3 期生）として、ベトナムから新規留学生 26 名、再入学生 1 名(2 期生）の計 27 名を受け入れた。令和 3 年度も新型コロナウイルス感染症拡大による国の水際対策により、全ての国からの新規入国が認められない状況が長期間続いた。このため、新規留学生 26 名については、年度当初からオンライン授業に取り組んだ。入国時期は、約 1 年遅れて令和 4 年 3 月末となったことから、日本での対面授業による修業期間を確保するため、卒業時期を 6 か月延長し、令和 4 年 9 月 とした。
・令和 2 年 11 月 13 日　広島出入国在留管理局から「適正校」として選定する旨の通知。
以降、毎年度、適正校として選定されている。
・令和 4 年度留学生（第 4 期生）は、28 名を受け入れ、モンゴルから初めて受入れた。
・令和 5 年 3 月 7 日　留学生が、在留資格「特定技能」を取得して就職した後も、受入企業をサポートできるように、広島出入国在留管理局へ「特定技能登録支援機関」の登録申請を行った。
・令和 5 年度留学生（第 5 期生）は、7 名が入学した。

課程	コース名	修業年限	収容定員	クラス数
日本語学科	一般コース	１年	１００名	５クラス
教職員数 令和 4.4.1 (令和 5.4.1)	区　分	教　員	職　員	合　計
	常　勤	6（5）	2（2）	8（7）

学校評価	教育目標	日本での生活を通じて、母国の誇りを持って日本の社会で就業及び生活できる人材の育成を目指す。				
	各項目評価	教育理念	学校運営	教育活動	学修成果	学生支援
		３（３）	３（３）	３（３）	４（４）	３（３）
		教育環境	学生募集	財　務	法令順守	社会貢献
		３（３）	３（３）	３（３）	４（４）	２（２）
		＜4…適切　3…ほぼ適切　2…やや不適切　1…不適切＞ (　)は令和 3 年度評価				

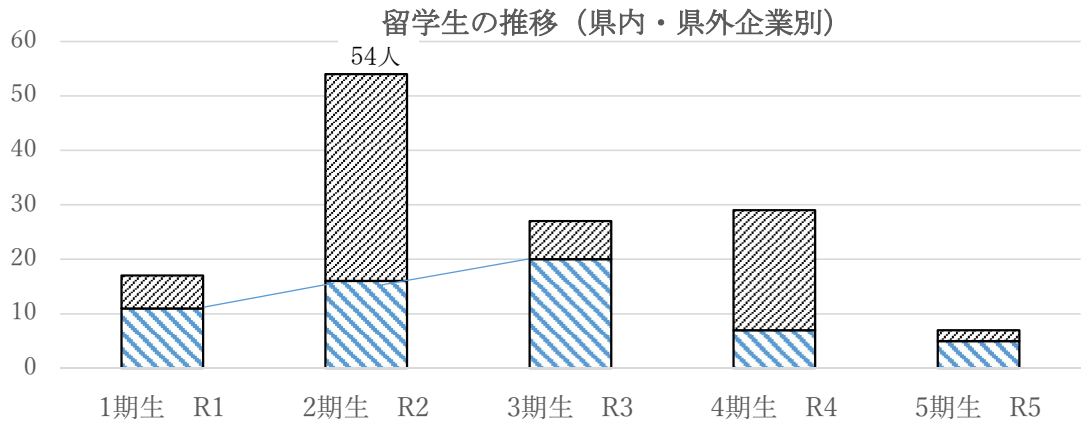
鳥取城北日本語学校

留学生の受入状況（期別）　　令和５年４月１日現在

	区　分	企業数	学生数	男	女
１期生（R元）	県内企業	８社	11 人	５人	６人
	県外企業	５社	６人	３人	３人
	計	13 社	17 人	８人	９人
２期生（R２）	県内企業	13 社	16 人	11 人	５人
	県外企業	21 社	38 人	29 人	９人
	計	34 社	54 人	40 人	14 人
３期生（R３）	県内企業	10 社	20 人	12 人	８人
	県外企業	４社	７人	５人	２人
	計	14 社	27 人	17 人	10 人
４期生（R４）	県内企業	５社	７人	４人	３人
	県外企業	８社	21 人	13 人	８人
	計	13 社	28 人	17 人	11 人
５期生（R５）	県内企業	１社	(※) ５人	１人	４人
	県外企業	２社	２人	２人	０人
	計	３社	７人	３人	４人
合計	県内企業	30 社	58 人	32 人	26 人
	県外企業	34 社	74 人	52 人	22 人
	計	64 社	133 人	85 人	48 人

(※)鳥大研究者家族１名を含む。

＊３期生には、２期生からの再入学１人を含む。
　また、R4.4 に社会福祉専門学校へ進学した者４人(再入学１名含む)を含む。
＊合計（企業数、学生数）は、各期の延数ではなく、実数である。



（４）事　務　局

法人業務を総括し、理事会・評議員会の開催事務や県の検査等に対応した。

(高校事務室との統合について)

職員数 令和 3.5.1 (令和 4.4.1)	区　分	職　員	合　計
	常　勤	11（11）	13（13）
	非常勤	2　(2)	

主な項目	概　　要
公認会計士 委嘱	池 原 浩 一（会計監査） 契 約（年度毎）　平成 30 年 6 月 1 日　　経費 1,540 千円
法律顧問契約	弁護士　駒 井 重 忠 契 約　平成 25 年 9 月 26 日（期間継続）　経費　660 千円
社会保険労務士 顧問契約	特定社会保険労務士　山　下　靖　夫 契 約　平成 28 年 9 月 30 日（期間継続）　経費 264 千円
規則制定・改正状況	・鳥取城北高等学校学則の一部改正(保護者→保護者等に変更)について(R4.4.1 付) ・幼稚園園則の一部改正(定員変更)について(R4.4.1 付) ・組織運営に関する規則(組織構成・職の変更)の一部改正(R4.4.1 付) ・育児休業等に関する規程の全部改正(R4.10.1 付) ・介護休業等に関する規程の一部改正(R4.10.1 付) ・鳥取城北日本語学校学則の一部改正(教育課程の変更)(R5.2.25 付) ・組織運営に関する規則の一部改正(R5.3.1 付) ・組織運営に関する規則の一部改正(R5.4.1 付) ・認定こども園鳥取第三幼稚園園則の全部改正について(R5.4.1 付)
監査受検状況	・令和 3 年度 私立学校教育振興補助金等に係る実地調査 鳥取城北高等学校　令和 4 年 4 月 20 日 ・令和 3 年度 私立幼稚園運営費補助金等に係る実地調査 （調査対象…私立幼稚園等特別支援教育研究推進事業費補助金） 鳥取第二幼稚園　令和 4 年 4 月 20 日 ・令和 3 年度 決算監査 令和 4 年 5 月 23 日、26 日(令和 3 年度決算に係る公認会計士と学園監事との合同監査) ・令和 3 年度 決算に係る公認会計士期末監査 令和 4 年 5 月 2、6、10、13、18、19、23、25、26 日 ・令和 3 年度 鳥取県私立幼稚園運営状況調査 書面調査 （対象　幼稚園型認定こども園）　令和 4 年 6 月 鳥取第一幼稚園、鳥取第三幼稚園、鳥取第五幼稚園 ・令和 4 年度 鳥取県私立幼稚園運営状況調査 （対象　幼稚園型認定こども園） 書面監査　令和 4 年 8 月 鳥取第三幼稚園、鳥取第五幼稚園 実地調査　令和 4 年 11 月 9 日　鳥取第一幼稚園 ・令和 4 年度 児童福祉施設指導監査 （対象 幼保連携型認定こども園） 書面監査　令和 4 年 9 月　鳥取第四幼稚園 実地監査　令和 4 年 10 月 12 日　鳥取第二幼稚園 ・令和 4 年度 公認会計士期中監査

	令和４年11月11、18日 令和４年12月７日 令和５年３月１、16、20、30日 令和５年４月14日 ・令和４年度「学校法人調査」（令和３年度事業対象） 令和５年１月30日

３ 経 営 状 況

（１）鳥取学園経営理念

学校法人鳥取学園は、建学の精神に則り、教育を通じて社会に貢献することを経営の柱とする。園児・生徒・学生・保護者・卒業生及び教職員は一体となり、将来にわたって地域社会とともに歩んでいくことを期し、次の点を重視し、強固な経営基盤の確立を図る。

・園児、生徒、学生を人として重んじ、それぞれの発達段階に応じた教育を通じて社会の負託に応える。
・経営における社会的責任を自覚し、透明性のある経営に努める。
・教職員と将来ビジョン(中期計画等)を共有し、教職員の資質の向上と生活の安定に努める。

（２）鳥取学園経営方針

・収支バランスに配慮しながら、持続可能な経営を行う。
・投資にあたっては費用対効果を十分に検証するとともに、確実な投資資金の返済計画を立てて実践する。
・特に、高校校舎改築及び幼稚園園舎改築借入金の計画的かつ円滑な返済と日本語学校の早期経営安定に留意する。

（３）経営状況の概要

次年度繰越支払資金は前年度114百万円の増から今年度217百万円の減へと転じた。ただし今期、資金運用として有価証券(社債)の購入とした支出100百万円を差し引くと、117万円の減となる。
主な要因は、幼稚園の施設型給付費収入の期末未収(△92百万円)による影響等があり、入金状況で大幅に変動する傾向にある。

高校校舎改築資金は多額の借入金を返済しており、今後の長期間にわたる借入金の返済に備え、支払資金の確保は極めて重要な課題である。

また、今期で第三幼稚園園舎の全面改築のための建築工事が完了したことにより、借入金の本格返済が開始する。
今後少子化の加速が見込まれる中で、借入金の円滑な返済が可能になるよう、鳥取幼稚園の運営のあり方について早急な検討が必要である。

さらに、日本語学校においては、特定技能や介護分野の受け入れの検討など、昨年度に続き留学生の積極的募集活動により、学校の運営を早急に軌道に乗せ、学園経営に支障をきたすことのないように努める必要がある。

これらの各種課題に対応するために、引き続き経費の削減と学生、生徒、園児の確保による収入の増加を図り、経営の安定に努めなければならない。

（４）資金収支の推移

※資金収支は当該会計年度の諸活動に対応する全ての収入と支出の内容（改築工事に係る収支を含む）と支払資金の収入と支出のてんまつを明らかにするもの

（単位:百万円）

年度	３０	元	２	３	４	
収入（A）	3,295	3,404	5,946	4,742	3,909	
城北高校	1,439	1,733	4,124	2,466	1,641	調整勘定等を除く施設別収入
幼稚園・認定こども園	925	871	965	1,378	1,334	調整勘定等を除く施設別収入
城北日本語学校	0	45	51	39	46	調整勘定等を除く施設別収入
事務局	0	0	0	7	1	調整勘定等を除く施設別収入
前受金収入・その他の収入	1,080	975	1,070	1,059	1,126	学園全体の調整勘定等
資金収入調整勘定	▲ 150	▲ 220	▲ 264	▲ 208	▲ 240	学園全体の調整勘定等
支出（B）	3,119	3,319	5,959	4,628	4,126	
城北高校	1,431	1,648	3,991	2,401	1,472	調整勘定等を除く施設別支出
幼稚園・認定こども園	904	869	978	1,395	1,445	調整勘定等を除く施設別支出
城北日本語学校	43	61	69	60	61	調整勘定等を除く施設別支出
事務局	11	13	13	24	13	調整勘定等を除く施設別支出
資産運用支出・その他の支出	934	918	1,001	905	1,221	学園全体の調整勘定等
資金支出調整勘定	▲ 203	▲ 190	▲ 93	▲ 157	▲ 86	学園全体の調整勘定等
収支差額（A－B）	176	85	▲ 13	114	▲ 217	
城北高校	9	85	133	65	169	調整勘定等を除く施設別収支差額
幼稚園・認定こども園	21	2	▲ 13	▲ 17	▲ 111	調整勘定等を除く施設別収支差額
城北日本語学校		▲ 16	▲ 18	▲ 21	▲ 15	調整勘定等を除く施設別収支差額
事務局	▲ 11	▲ 13	▲ 13	▲ 16	▲ 12	調整勘定等を除く施設別収支差額
その他の収支差額	146	57	69	154	▲ 95	学園全体の調整勘定等
調整勘定収支差額	53	▲ 29	▲ 171	▲ 51	▲ 153	学園全体の調整勘定等
次年度繰越支払資金	665	750	737	851	634	

(注)百万円以下四捨五入で表示をしているため合計数値が合わないことがある。

令和4年度の収支差額(A-B)は▲217百万円、ただし今期は資金運用として有価証券(社債)購入のための支出があるため、この額面である100百万円を差し引くと、実質▲117百万円の赤字となった。赤字の大きな要因として、幼稚園の令和4年度の施設給付費収入の期末未収入金▲92百万等の影響が大きい。

令和5年度から第三幼稚園園舎改築に係る借入返済も始まる。今後の将来に備えて、安定的な資金確保が不可欠である。

（５）事業活動収支（消費収支）の推移

※事業活動収支（消費収支）では教育活動に必要な資産の取得に係るものを除き（ただし施設整備費補助金を含む）、経常的な収支バランスを明らかにするもの

ア　学園全体の科目別収入及び施設別収入の推移

（単位：百万円）

年度		３０	元	２	３	４
学生生徒納付金		663	675	693	689	755
手数料		22	18	17	18	16
寄付金		9	26	14	4	7
補助金		1,061	1,151	1,231	1,403	1,364
運用収入		0	0	0	0	0
事業収入		140	148	156	171	165
雑収入		100	114	45	53	39
合計		1,994	2,132	2,156	2,338	2,346
施設別	城北高校	1,078	1,230	1,223	1,270	1,340
	幼稚園・認定こども園	916	858	880	1,030	958
	城北日本語学校	0	44	51	39	46
	事務局	0	0	2	0	1

イ　学園全体の科目別支出及び施設別支出の推移

（単位：百万円）

年度		３０	元	２	３	４
人件費		1,350	1,370	1,371	1,385	1,449
経費		847	677	761	893	873
借入金等利息		22	27	32	38	38
資産処分差額		150	3	2	59	50
徴収不能引当金		0	0	0	0	1
合計		2,369	2,077	2,166	2,375	2,410
施設別	城北高校	1,390	1,135	1,168	1,383	1,294
	幼稚園・認定こども園	924	867	913	918	1,039
	城北日本語学校	46	62	71	63	64
	事務局	9	13	14	11	14

ウ　施設別の収支差額の推移

（単位：百万円）

収支差額（アーイ）		▲ 375	55	▲ 10	▲ 37	▲ 64
施設別	城北高校	▲ 312	95	55	▲ 113	47
	幼稚園・認定こども園	▲ 8	▲ 9	▲ 33	111	▲ 81
	城北日本語学校	▲ 46	▲ 18	▲ 20	▲ 24	▲ 17
	事務局	▲ 9	▲ 13	▲ 12	▲ 11	▲ 13

エ　令和４年度事業活動収支内訳

（単位：百万円）

内訳			城北高校	認定こども園	日本語学校	事務局	法人計
教育活動収支							
	収入	R３	1,248	856	39	0	2,142
		R４	1,320	845	46	0	2,211
	支出	R３	1,295	909	63	11	2,278
		R４	1,252	994	63	13	2,323
	収支差額	R３	▲ 48	▲ 54	▲ 24	▲ 11	▲ 136
		R４	68	▲ 149	▲ 17	▲ 13	▲ 112
教育活動外収支							
	収入	R３	0	0	0	0	0
		R４	0	0	0	0	0
	支出	R３	34	4	0	0	38
		R４	33	5	0	0	38
	収支差額	R３	▲ 34	▲ 4	0	0	▲ 38
		R４	▲ 33	▲ 4	0	0	▲ 38
特別収支							
	収入	R３	22	174	0	0	196
		R４	21	114	0	0	135
	支出	R３	54	5	0	0	59
		R４	9	41	0	0	50
	収支差額	R３	▲ 32	169	0	0	137
		R４	13	73	0	0	85
基本金組入前当年度収支差額		R３	▲ 113	111	▲ 24	▲ 11	▲ 37
		R４	47	▲ 81	▲ 17	▲ 13	▲ 64
基本金組入額合計		R３	0	▲ 166	▲ 4	0	▲ 170
		R４	▲ 28	▲ 93	▲ 2	▲ 1	▲ 124
当年度収支差額		R３	▲ 113	▲ 54	▲ 28	▲ 11	▲ 206
		R４	19	▲ 174	▲ 19	▲ 14	▲ 188

→ウ表の網掛部分と一致

（注）百万円以下四捨五入で表示をしているため合計数値が合わないことがある。

教育活動収支差額　城北高校＋68百万円、幼稚園▲149百万円、日本語学校▲17百万円である。

城北高校は生徒数の維持に伴い学生生徒納付金収入等が順調に伸びた。

幼稚園や日本語学校においては、園児数、学生数減の影響が大きい。

幼稚園については前年比で▲95百万円。（大きな要因は収入▲4百万円に対して、人件費の支出増53百万円、また今期、第三幼稚園の園舎改築解体等費用の支出増31千円が含まれる。）

特別収支差額は、城北13百万円は卓球場改修による既存除却損、幼稚園73百万は主に第三幼稚園建設等にかかる補助金収入110万円、建物や構築物等の除却損▲40千円が主である。

※ 基本金組入額
教育活動に必要な土地・建物、運転資金等を永続的な教育活動を担保するために計上するもので、観念的な簿記上の取引。
基本金を組み入れた上でこの収支がバランス（０以上）していれば、将来の固定資産取得時に取得資金が残っていることになる。

※ 第１号基本金　「現有の固定資産の金額」の財源的裏付けとなるもの
第４号基本金　「運転資金の金額」の財源的裏付けとなるもの